

## ウッドデッキの作成

前々から家内よりウッドデッキを作って欲しいと言われていましたが、次第に歳も重ねると根気も続かなくなるため少し頑張れるうちにと思い、平成 27 年 10 月にやっと取りかかることにしましたが完成は 28 年 4 月になってしまいました。狭い庭なので形だけでもウッドデッキで、2 人でお茶を飲める程度のものに決めました。

### <概要>

- ・ 大きさ : 2.1m × 2.1m
- ・ 板材は経年変化にある程度、耐えられるもので施工しやすいもの  
イタウバネオ(グラピア) デッキ材 E4E/S4S(リブ無し)  
厚み 20mm × 幅 105mm 長さ 2,100mm  
(ネットで調べ“卯之木屋”さん <customer@unokiya.com> より購入)
- ・ 形は小さいが何か工夫を凝らしたものにしたい。

### <工夫した点>

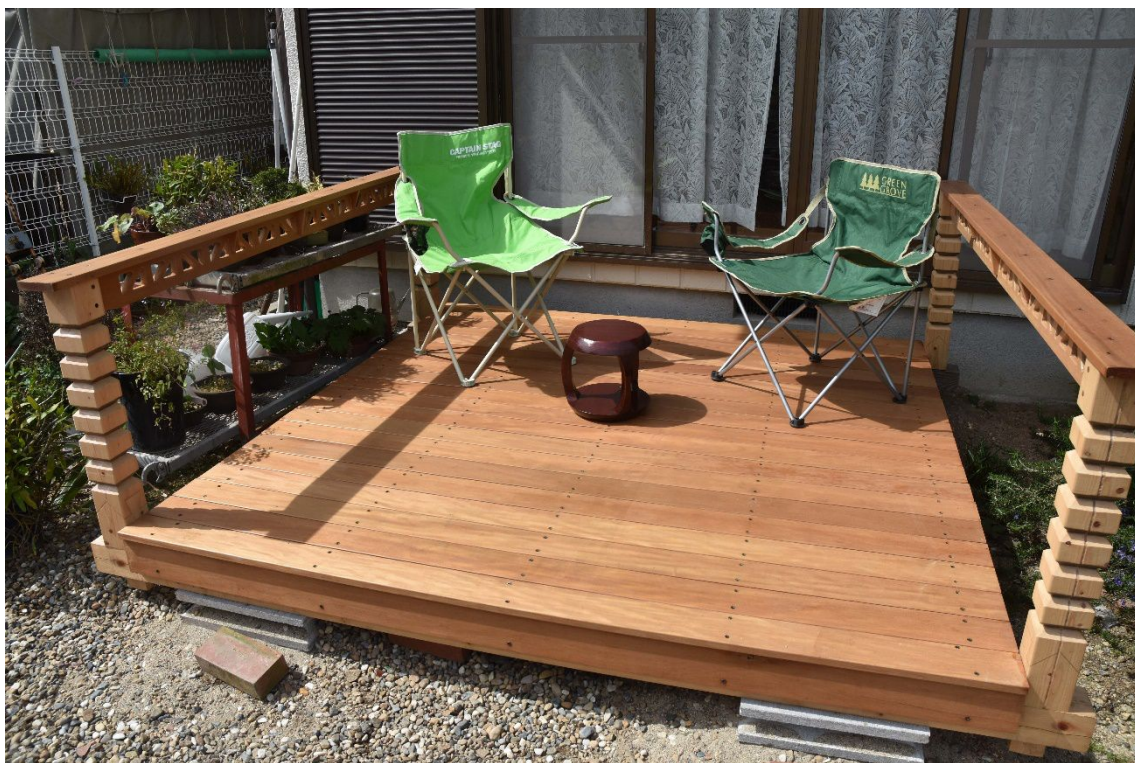
- ① 基礎は高さ調整のためにジャッキを考えたが、コンクリートブロックの下に砂を入れ高さ調整のできる簡単なものとした。
- ② 根太は阪神淡路大震災で家を建て替えた際の三寸角材が少し残っていたのでこれを利用し、手摺の柱への利用も考え 3m の檜を 2 本補充した。
- ③ 手摺の材料は耐久性を考えデッキと同じものとし、2.1m を飛ばしても撓まない様に同じ板材で縦リブをつけ、縦リブに模様で遊びを入れた。これを支える柱にも模様を付け、以前から考えていた大阪城大手門の柱にも施されている柱接手を応用し遊びを入れた。根太への固定は木製楔を打ち込んで止めたが思いのほか、しっかりと固定されている。

### (製作した後の感想)

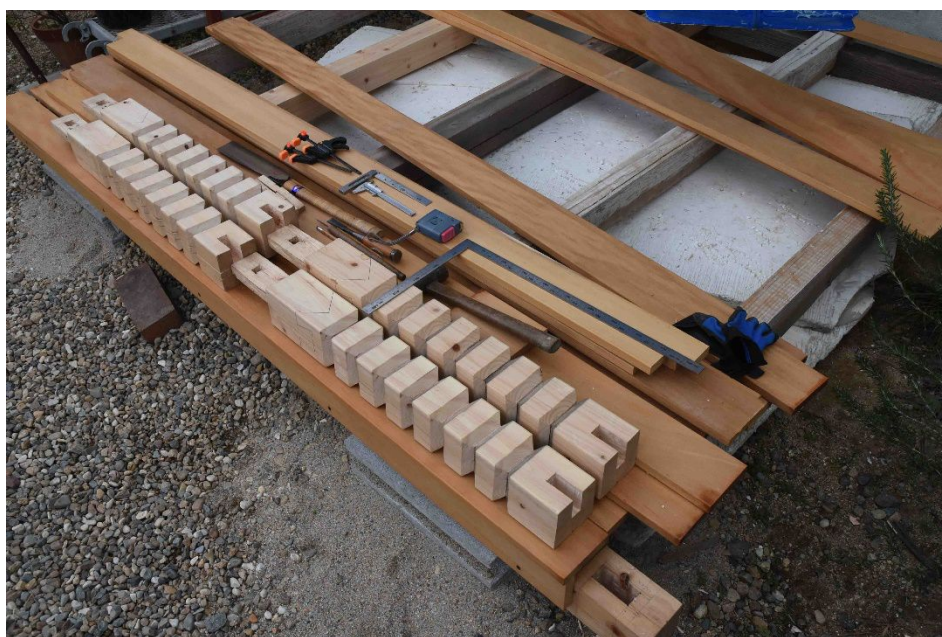
- ・ デッキ材は購入後できるだけ早いうちに、貼り付けた方が暴れが少なく、施工しやすいのではないかと思う。
- ・ 耐候性を考え、透明ニスを塗ったが、購入後すぐに塗装すれば良かった。雨を受けると材料からのアクで模様がついてしまう。
- ・ デッキ材の匂いは檜や杉の様にはいかないが、外であればあまり気にならない程度である。
- ・ 材料は施工しやすく、長さは 2120mm 程度あった。
- ・ 今後、湿気などでナメクジなどが発生しないかが心配である。

手摺や柱の細工は作った本人だけが満足しているだけで、他人はあまり気が付かない様です。

作成状況等の写真をつけます。

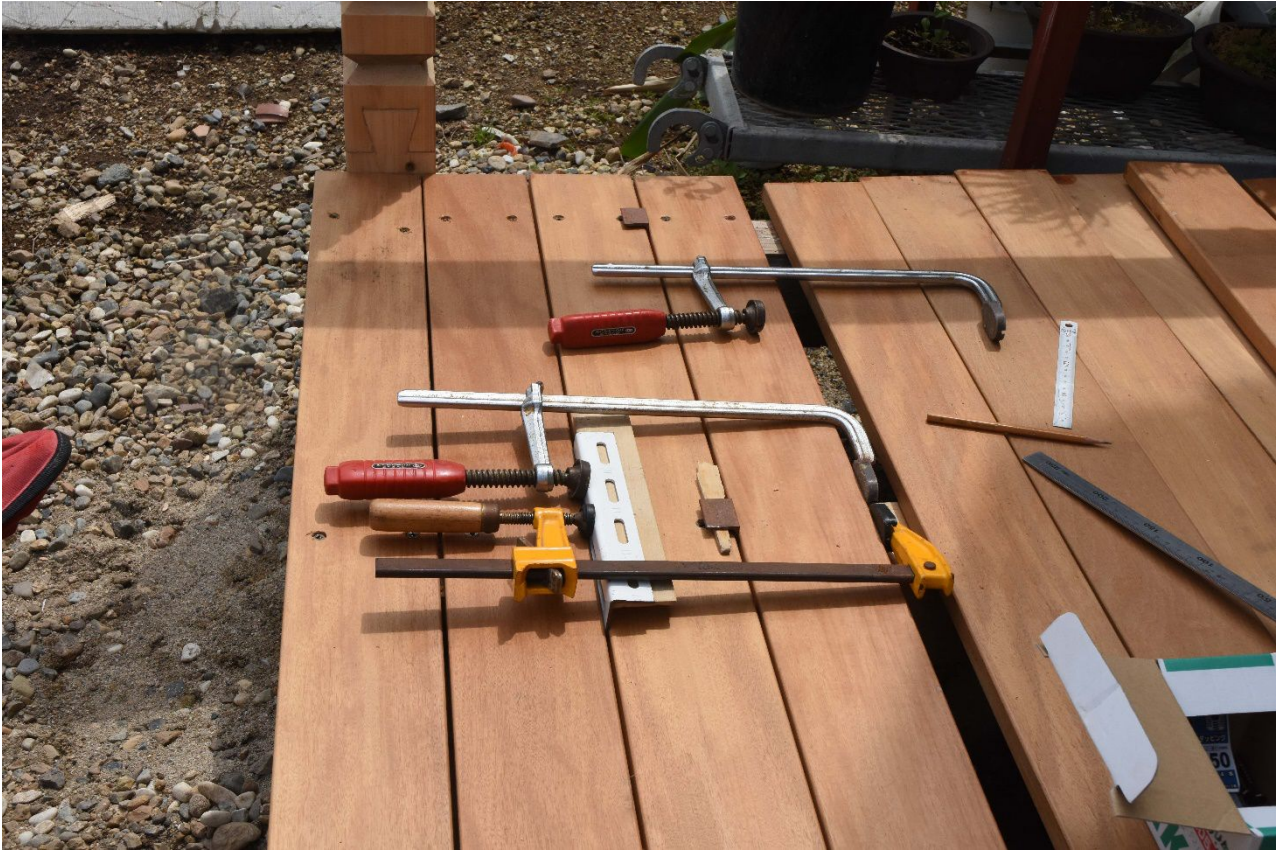


2.1m×2.1mのウッドデッキ完成状態  
(手摺とその柱の工事に長い作業時間がかかったが、最も楽しかった部分)



デッキの組立前 手摺の柱に細工を施した状態

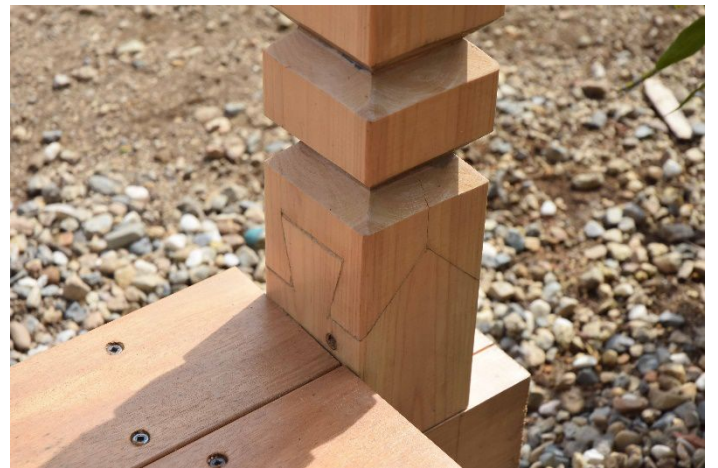




組立状況



柱の不思議な接手（前側）



柱の接手（後側）